



## 出会いを生かし、人生を彩る！

校長 中山 恭平



映画「幸福の黄色いハンカチ」で第1回日本アカデミー賞の最優秀主演男優賞を受賞した俳優の高倉健さんは、2013年には文化勲章を受賞し、その翌年83歳で亡くなりました。

その高倉健さんは、ある出版社の取材の中で「人生ってそれ(出会い)だけって気がします。泣いたり、笑ったり、憤ったり、感動したり、すべてが出会いから起きていますよね。もちろん、学生時代の学問、そして、この世界に入って演じた役柄とかから学んだことも多いですけど、大きな影響を受けたのはやはり人です。」と語っている。

私の知人の息子さんは、今年10月に栃木県で開催された第22回全国障害者スポーツ大会「いちご一会とちぎ大会」の鹿児島県選手団として参加した。そして、陸上競技の障害区分「肢体の部」においてソフトボール投げと砲丸投げで見事優勝を果たした。

知人の息子Oさんは、今から9年前、大阪の大学に通っていた20歳の時、車の助手席に乗っていて事故に遭い、生死をさまよった。充実した学生生活は一転、体の自由や保健体育の教師の夢さえも失い、失意中、ご家族の協力を得ながら過酷とも思えるリハビリに取り組んできた。その中であって、4年半前、リハビリ先である人との出会いがある。その人の勧めで俳句を作り始め、やがて熱中するようになった。そして、昨年、Oさんは南日俳壇・歌壇賞を受賞したのである。そのリハビリ先に駆けつけ、俳句を勧めた人というのは、Oさんの父親の元上司だった。かつての部下の子息の窮状を何とか手助けをしたいという思いから俳句を勧めたのであろう。その出会いをOさんが自分自身の生き方に生かしたということなのだと思う。

Oさんは受賞後「事故がなければ、別の人生があったのではと、しばしば負の感情にさいなまれるが、暗い背景があるからこそ見える美しさがある。少しずつ、前を見て生きることを詠めるようになってきた。」と振り返った。「いちご一会とちぎ大会」前には次の一句が地元紙に掲載された。

### 「砲丸は重い地球を跳ね返す」

私たちは誰もが順風満帆な人生を送りたいと願っている。しかし、想うようにいかないことの方が多いのが人生なのかもしれない。Oさんが壮絶な出来事を乗り越え、自分の想いを俳句に詠むことを続けながら、来年開催される「かごしま大会」の県代表としてさらに活躍されることを心から応援したいと思っている。

「一期一会」とは、生涯に一度の出会いという意味がある。クラスの仲間や家族の人たちとの生活の一瞬一瞬は、二度とない出会いとなる。そして、出会った人々と敬う心をもって接していくことが、自分の人生をより高めるとともに次なる貴重な価値ある出会いへとつながっていくと考えている。清水中学校の生徒、保護者、職員すべての方々のすてきな出会いを期待している。



## 「誰か」のことじゃない 第74回人権週間(12月4日~10日)

国連では、昭和23年(1948年)12月10日に「世界人権宣言」が採択されたことを祈念して、この日を「人権デー(Human Rights Day)」としています。日本ではこの日が最終日となる1週間を「人権週間」と定め、人権尊重思想の普及高揚に努めています。本県でも一人ひとりの多様性を認め合い、すべての人の人権が尊重される社会づくりを目指して、取組が行われています。御家庭でも、ぜひ話題にしてください。

### 県の主な啓発活動

テレビ広報 県内民放4社 人権週間の広報  
ラジオ広報 MBC・FM 鹿児島 人権週間の広報  
インターネット広報 Yahoo! YouTube  
人権ポスターコンクール 山形屋 2.3 館 3階連絡通路  
人権啓発 DAY with 鹿児島ブナイズ 12/3 川内市  
※ その他にも行われる予定です。

## 令和4年度維新文化祭



「飛び立て 353 の個性 どこまでも高く Fly High」のスローガンのもと、維新文化祭が11月2日に開催され、生徒たちがこれまで準備した作品や練習に励んだパフォーマンスを発表しました。

本校では各学年別に劇やダンス、研究発表などのグループに分かれ、各自の興味や個性にあ

った発表を行います。今年も各学年のテーマに沿った独創的な発表が行われました。

また、日頃の学習の成果(英語スキットやスピーチ、弁論発表など)や文科系部活動の発表(吹奏楽部の演奏や美術部の展示発表)も行われました。

本年度は一部ですが、生徒家族の観覧も行われ、

「孫の行事にやっと来られました。生徒さんたちのパワーを反対に頂きました」「一つのことに向かって全員で努力する姿に感動しました」などの感想も寄せられ、心に残る素晴らしい文化祭となりました。

## 生徒会へバトンが引き継がれました

11月12日(土)、生徒会引継式と任命式が行われました。先日の生徒会選挙で選出された新会長と副会長に学校長から任命書が手渡され、本部役員と専門部長・副部長には斜木新会長から委嘱状、前期生徒会のメンバーから引継ぎファイルが渡され、いよいよ後期の生徒会がスタートしました。



斜木新会長からは「役員だけでなく、生徒全員で清水中を盛り上げていきましょう!」と決意の言葉が発表されました。



11月19日(土)には、生徒会を中心に赤い羽根街頭募金のボランティアが行われました。今後はもっともっと活躍の場面が見られると思います。生徒会への応援をよろしくお願いします!

## 多くみなさんに支えられる清水中

11月第1週は「地域が育む『鹿児島県の教育』県民週間」で、多くの方々(のべ316名※文化祭含む)に生徒の様子を見てもらいました。その他にも今月は、校外で多くの皆さんにお世話になる機会がありました。

4日(金) 1年生がかごしま環境未来館と鹿児島市北部清掃工場を見学しました。見学を通して、環境を守る大切さをさらに気づくことができ、充実した校外学習となりました。3年生は学校薬剤師の迫田先生に「血液の話」をしていただきました。血液の大切さや血液が必要な人の話を聞き、献血の大切さを学びました。



7日(月) キリシマミライ+交響楽団の皆さんのヴァイオリン4重奏を鑑賞しました。生の演奏を初めて聞く生徒も多く、貴重な体験となりました。



9日(水) 「119の日」ということもあり、事前連絡なしの避難訓練を行いました。突然の訓練でしたが、整然と避難行動ができました。避難後は消火器を扱う体験も行われました。



10日(木) 朝読書では学校ボランティアの皆さんに読み聞かせをしていただきました。午後から2年生は「救急救命講習」を上町分遣隊とボランティアの皆さんに指導していただき、心肺蘇生法を学びました。



18日(金) 南薩平和とサークルの赤崎さんに鹿児島県の各地から飛んだ特攻について話を聞き、平和の尊さを学びました。



21日(月) 弁護士の柏木さんによる人権講話で、はじめは人権侵害であることなどを学びました。また、この日からPTAの朝のあいさつ運動も始まりました。さらには校区の民生委員さんたちが学校前の石垣の除草を行ってくれました。



本校はこのような多くの皆さんたちに支えられ、見守られて教育活動が成り立っています。感謝の気持ち忘れず、生徒の健全育成を図ってまいります。

日	曜	12月 行事予定表	SC 来校日	「誰か」のことじゃない 第74回人権週間(4日~10日)			
2	金	1・2年授業参観・学級保護者会		14	水	生徒会の日	市川(AM)
5	月	2年情報モラル教室	中島(PM)	19	月	職員研修	中島(PM)
		3年ストレスマネジメント教室		20	火	職員会議	
7	水	1年保健教室		21	水	専門高校フェスタ(2年)	
10	土	土曜授業 郷土学習(2年)		22	木	冬至 生徒会の日	
		第2回リサイクル活動		23	金	終業式	
12	月	学校たのしーと調査	中島(PM)	24	土	冬季休業(~1月10日)	

カウンセリング(SC:中島先生 or 市川先生)の申し込みは、担任または教頭まで連絡をしてください。

学校の最新情報は本校ホームページ(<https://www.keinet.com/shimizuc/>)で! 右のバーコードか、**鹿児島 清水中**で検索してください。

